



(実施概要)

地域コーディネーター養成講座 ぎのわん地域づくり塾2017



平成30年3月

主催：宜野湾市／社会福祉法人宜野湾市社会福祉協議会

協力：宇地泊区自治会

共催：沖縄国際大学 後援：沖縄県地域振興協会

アドバイザー：櫻井常矢教授（高崎経済大学）

企画・運営：NPO法人まちなか研究所わくわく

地域コーディネーター養成プログラム

これからの社会では、様々な分野で「一つの組織、団体では対応できない課題」が増えてきます。地域課題を共有し、互いに得意とするを持ち寄り、一緒に取り組むことで、課題解決を進める「協働による地域づくり」が求められています。「ひとりの困りごと」を「地域の困りごと」として、いろいろな人や力、資源をつなぎ合わせて、解決の動きをつくり出す地域コーディネーターとしての力を磨き合うために、昨年度から開始し、第2期目となる「ぎのわん地域づくり塾2017」を開催しました。本塾では、講義、フィールドワーク、インタビュー、ゼミを通じて、モデル地区（宜野湾市宇地泊区）の地域課題をとらえ、解決のための企画提案を行う過程から、地域コーディネーターを育成します。

地域づくりのプロセスを大切にする 地域コーディネーターの養成



講義

アドバイザーの櫻井先生やモデル地区の地域の方が講師となり、地域づくりのプロセス、地域の課題や資源について学びます。

ゼミ

塾生同士でグループに分かれ、対話を通じて、地域課題の仮説を立て、検証し、解決策の企画立案を行います。

フィールドワーク

地域課題や地域資源を発見し、確認し、掘り下げるため、モデル地区や他地区のフィールドワークを行います。

インタビュー

モデル地区の地域の方々へ地域での活動の現状をお聞きし、今ある取り組みと活動上の課題、地域の現状について聞き取りを行います。

2期塾生 25名修了 (要件：全8回講義中4回以上の出席)

宜野湾市の協働による地域づくりに関心のある市内外の18歳以上の方を対象に、塾生の募集を行いました。

その結果、第1回公開講座には54名の方々にご参加頂き、企画立案グループに所属した受講生は30名（女性：22名、男性：8名）でした。

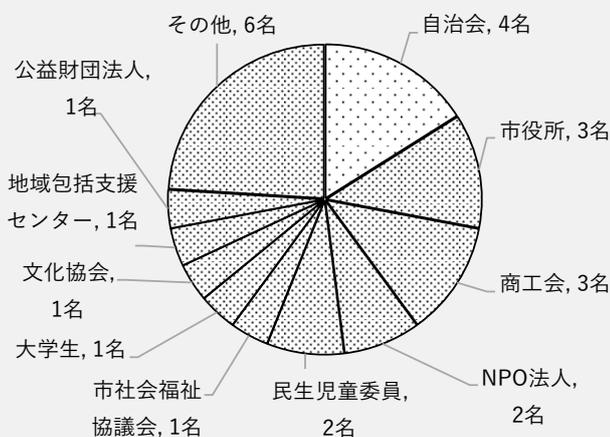


エクスタスティン昇子さん
アメリカンスクール
(30代)

楽しく学べた4ヵ月間

「異なる世代・職種・背景の人と協力するための工夫と楽しさ。」「地域の大切さ、地域の課題が社会の課題につながっていること。」など、本当に学ぶことが多い、充実した4ヵ月でした。

知識だけではなく、肌で感じるものも多く、ここで得たことは今後、様々な場面でも活かせると思います。グループメンバー、そして気持ちよく学べるように支えて下さった運営の皆さんには感謝です。



第1・2期修了生 **61**名



**異業種、異分野の
メンバーがチームで
学び合う**

行政、民間、福祉、自治会等、異なる専門性を持つ方達とチームで学び合います。



**地域の現場（自治会エリア）
で学び、
地域へ提案する**

地域の方々とも話し合い、3ヶ月間かけて、地域の課題を探し、解決策を提案します。



**宜野湾市での
地域づくりの仲間と
ネットワーク**

塾生同士や地域の方達との関りだけでなく、修了生61名とのネットワークが広がります。

第2期のモデル地区（宇地泊区）

宜野湾市宇地泊区は、浦添市に接する西海岸沿いにあり、人口は4,388人（男：2,069人、女：2,319人）（平成29年12月）の地区です。平成6年度～平成29年度に宇地泊区第二区画整理事業が行われたため、一時、人口が減少するが、平成13年から新しい建物が増え始め、人口が増加しています。自治会の加入世帯数は、1,834世帯の内、355世帯（加入率19.36%）（平成29年）となっています。



図の引用：宜野湾市市勢要覧 2014



安里ひなのさん
琉球大学 学生
(20代)

新たな視点からの学び

参加するまで地域づくりや地域での活動はあまり知らなかったのですが、様々な活動、年代の方と交流することで良い刺激になりました。どうしても上からというか、自治会側からの考えになってしまっているのではないかという悩みがあり、その視点（悩み）はよい学びになったと思います。



石川寛敏さん
宜野湾市役所
(30代)

繋がりが増えました

実際に地域で活動されている方の声が聞けたことは良かった。地域のことを知り、志をもつ方々と出会えたことは今後の財産になると思います。

地元への誇りと自信が持てました

住んでいる宇地泊、真志喜地区に誇りと自信を持つことができました。コンベンション・エリアとしての魅力だけではなく、地域住民の開かれた人情の深さに改めて感激しています。また、街歩きをしなければ、生活の実感がわからない。宇地泊のフィールドワークを通して課題解決へのプロセスが見えた気がします。



前田真顕さん
宜野湾市スポーツ
推進委員 (60代)

学びを活かした自分への気づき

コーディネーターは解決する人ではなく、つなげる人。すごく勉強になりました。問題や課題を見つけ出すポイントも以前より早くなっている自分に気づいたり、前よりは質問上手になっています。



島袋盛子さん
商工会女性部
(50代)

自治会長がみる宇地泊区の困りごと

本塾の開催前に、宇地泊区自治会の富名腰義政会長から宇地泊区の地域活動や歴史について教えていただき、現在の課題として、以下の4つの困りごとをご提示いただきました。

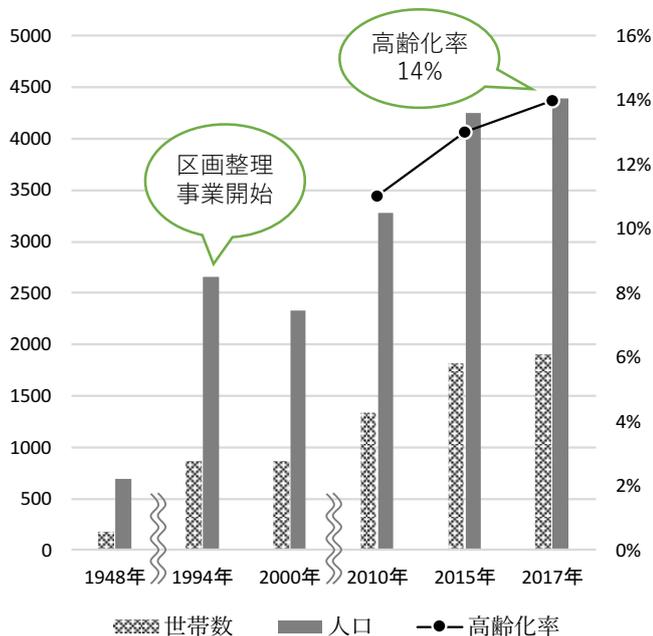


図 宇地泊区の人口、世帯数、高齢化率推移

1. 若者の地域参加、子育ての悩み：

地域外から来た人、戻ってきた人に対して、既存行事の目的などが伝わらない

2. 防災への不安：

海拔が低いエリアでの防災意識・対策。自主防災組織、訓練への参加

3. 高齢者の出番づくり：

高齢者の公民館への足が遠のいている

4. 環境づくり：

公園、海などのまち中の環境
区内の移動が難しい



富名腰義政 会長
宇地泊区自治会

宇地泊区の困りごとに応じた企画提案

塾生が、宇地泊区の4つの困りごと+自由枠の中からテーマを決め、グループごとに解決したい課題を設定し、解決に向けた企画提案を行いました。そして、平成29年11月23日（木）に、宇地泊区の皆さんに向けて「地域の課題設定」、「解決方法（提案）」、「実現するプロセス」をふまえて、最終発表を行いました。

提案① 新しく移り住んだ子育て世代が地域とつながるには…？ グループ：ぎのわんキャンディーズ

課題設定

移住した方は地域の活動をあまり知らず、子育ての悩みなどを相談できる人がいなくて、困っていると想定。

解決方法（提案）

不動産会社等と連携して地域の情報をSNS、チラシで発信、遊具や絵本などを置いて、誰でも気軽に立ち寄れる公民館にする。

実現するプロセス

チラシ作成、SNSなどが得意な方を地域から募り勉強会を開催して、地域活動に関心を持ってもらうために情報発信し続ける。



提案② 料理で繋げる全世代・地域交流の懸け橋

グループ：オールドジェネレーション

課題設定

地域活動を行う住民、各団体同士のまとまりは強いが、外部の人からは関わりづらいと想定。

解決方法（提案）

料理イベントの開催経験者がいる等から、開かれた公民館の実現ため、気軽に参加できる料理イベントを提案。

実現するプロセス

持続可能な活動を目指して、公民館を拠点に、活動計画の企画などの話し合いの場をつくり、横の連携を図る。



企画発表に対する宇地泊区住民のコメント



これから子育てサロンをしていくには良いことだと思う。さらに、当事者の方達も企画者の中に加え、自分達が楽しめることを考えてもらったら、今の企画者達も盛り上がってくると思います。提案に対して、私も賛成で、協力したいと思います。



すぐに子ども会が取り組めるのは、情報発信（ブログ、SNS）などかな、と思いました。今後、親御さん達に「この提案どうですか」と伝えていきたいと思っています。

皆さまの熱い発表に、心から感動しております。地方創生の原点は地域にあると思います。今後も、皆さんと一緒に力を合わせていきたいと思っています。



今回提案された3世代交流で、まとまる気配を感じました。子ども達にバトンを渡せるように、発表いただいた内容も参考に、進めていきたいと思っています。



聞いたことない話で、素晴らしい発表でした。こんなに素晴らしい集まりとは思っていませんでした。



「ぎのわん地域づくり塾」のモデル地区の受け入れ前、当公民館では不安がありました。開講前の打ち合わせで宮道先生の説明を聞いて、その不安が消えました。地域においては、諸問題、個人的な不安、悩み等があります。それを、皆で考え、解決策を見出していくのが自治会行事、活動において役に立つ事を学習しました。また、塾生の中から新規自治会加入者が現れました。将来、自治会活動のリーダー的存在になって欲しいです。

提案③ 高齢者と地域の関わり？

グループ：チームなびい

課題設定

以前は地域活動に参加していた高齢者が、様々なきっかけで参加しなくなったことがある。

解決方法（提案）

そのような高齢者のお宅で趣味や特技を教えることや、自由参加型の場所作りを行う。

実現するプロセス

地区の高齢者を把握、見守り体制構築のためのマップや花壇を手入れできる用具を設置する。



提案④ 子育てサロンを地域づくりの起爆剤に！

グループ：チームそれでも人しか愛せない

課題設定

家庭内保育をしている世帯が地域で楽しめる場をより求めていると想定。

解決方法（提案）

子育てサロンを親子がより主体的に楽しめるように工夫し、友達づくりや地域との関係性を育む。

実現するプロセス

サロン利用者のニーズを把握し、得意なことなどを任せながら利用者中心で活動できる環境づくり。



提案⑤ イケおじが宇地泊を熱くする

グループ：やっぱりねこが好き

課題設定

地域のつながりを高齢になる前につくる為に、すでにある宇地泊の活動へ、いかに参加者を増やすか。

解決方法（提案）

青年会OBのエイサーを軸に、三線教室の方や子ども達のチョンダラーなど多世代が参加する仕組み。

実現するプロセス

三世代交流会でエイサーの仲間（チョンダラー＆手踊り＆地方）を集めながらエイサーを毎年開催。



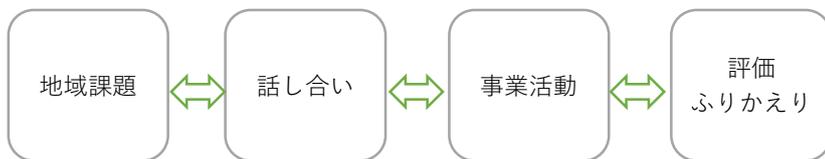
ぎのわん地域づくり塾カリキュラム

「ぎのわん地域づくり塾」では、全7回（+スキルアップ講座）の講義にて、地域課題の仮説を立て、フィールドワーク、インタビューを通して課題を探り、宇地泊区に貢献する企画提案を行う過程から、地域コーディネーターとしてのスキルを学んでいきました。

地域コーディネーターの人材像

地域づくりのプロセスを大切にし
地域内外の多様な人や組織、力、資源をつなぎ合わせて
「ひとりの困りごと」を「地域の困りごと」として
解決の動きをつくりだす人材

地域コーディネーターが住民と行う、地域づくりのプロセス



フィールドワーク

地域課題を調べる
～フィールドワークの作戦会議～

参加者 22名

講師 高崎経済大学 櫻井常矢 教授

第3回で出した何とかしたい「現象」（困りごと）から、グループで取り進む一つを選びました。その困りごとの状況を把握するために、「インタビュー」、「まちあるき」から得たい情報を書き出し、次のフィールドワークに備えました。



第1回講義（公開）

日時 7月9日（日）
14:00～17:00
会場 沖縄国際大学

第2回講義

日時 7月24日（月）
19:00-21:30
会場 宇地泊区公民館

第3回講義

日時 8月21日（月）
19:00-21:30
会場 宇地泊区公民館

第4回講義

日時 8月31日（木）
19:00-21:30
会場 宇地泊区公民館

公開講座

ひとを育む地域づくりを
進めるために
～コーディネータの役割を描く～

参加者 54名

講師 高崎経済大学 櫻井常矢 教授

地域コーディネーター養成講座「ぎのわん地域づくり塾2017」がいよいよスタート！櫻井常矢教授をお招きして、「コーディネーターの役割、地域づくりとは何か？」について講義頂きました。講義後、参加者同士で小グループを作り、講義をふり返りかえって理解を深めました。



地域の課題研究

地域づくり実践の現場から学ぶ
～宜野湾市宇地泊区の
地域課題と実践～

参加者 28名

情報提供

富名腰義政氏（宇地泊区自治会長）
高良謙二氏（民生委員・児童委員）

宇地泊区の歴史や特徴、現在の地域活動、地域課題について自治会長、民生委員の方にお話しいただき、グループごとに取り組みたい地域課題について話し合いました。



宇地泊区の地域課題の
「現象」と「原因」を考える

参加者 23名

提示された宇地泊区の4つの困りごと+自由枠の中から、グループで取り進むテーマを決めました。この解決したい宇地泊区の困りごとについて、現象（目に見える困りごと）と原因（引き起こすもと）を付箋に書き出しながら、全グループで共有する時間を持ちました。



インタビュー

フィールドワーク
～まちあるき・
地域インタビュー実践～

参加者 21名

宇地泊区住民 17名

民生委員・児童委員、老人会、子ども会、婦人会、青年会OB、はつらっクラブ等の皆さんをお呼びして、インタビューさせていただきました。宇地泊区の特徴や現在の活動について教えていただき、午後からは、宇地泊区内のまちあるきをしました。



スキルアップ講座 参加者 31人

「話し合う」ためのスキル
～ファシリテーション～

日時 8月6日(日) 9:00-15:30

会場 宜野湾市社会福祉センター

本講座は、地域づくりのプロセスを推進していく中で基礎となるファシリテーションについて学びました。地域づくり塾の話し合いで大切にしたいことを話し合ったり、話し合いのデザインについて学び、グループワークにて実践しました。



第5回講義

日時 9月9日(土)
9:00-15:30
会場 宇地泊区公民館

第6回講義

日時 10月7日(土)
9:00-15:30
会場 沖縄国際大学

第7回講義

日時 11月23日(木)
9:00-16:00
会場 宇地泊区公民館

塾生交流会
毎月第3水曜日に
開催中♪

課題解決に向けた企画づくり

地域の課題解決の企画づくり
5グループの中間発表

参加者 20名

宇地泊区の地域課題を掘り下げ、課題解決に向けた企画づくりを各グループで進め、宇地泊区に貢献する発表を目指して中間発表を行いました。塾生同士、お互いの発表に対して意見を交わし、最終発表に向けて、企画をブラッシュアップしていきました。



宇地泊区に向けた最終発表
修了式

参加者 受講生 22名
一般 22名

講師 高崎経済大学 櫻井常矢 教授

宇地泊区をフィールドに4か月間、学んだ成果を、宇地泊区の皆さんに向けて、5グループが発表しました。発表後には、宇地泊区の方、富名腰会長、櫻井先生からコメントをいただきました。修了式にて、塾長から修了証を授けいただき本塾も終了となりました。



多彩な情報の交換会♪

日時 毎月第3水曜日
18:30-20:30

場所 ケアステーションマナ
参加費 100円(お茶菓子代)

塾生交流会は、年代、属性も多彩なメンバー同士で様々な情報交換や塾生の特技を活かした講座、公園の活性化などなど、ワクワクするような話しをしています。行けるときに行ける、ゆるく長くつながれる場です。2期生との交流会も、1期生の皆さんで企画してくれました♪



関係者からみた地域づくり塾

誇りと愛着の育まれるまちづくりの実現に向けて



塾長 宜野湾市
佐喜眞淳 市長

本市では、宜野湾市市民協働基本指針に「誇りと愛着の育まれるまちづくり」を掲げ、協働によるまちづくりを進めているところでございます。その実現のためには、一つの組織、団体では対応できない複雑化した地域課題を、様々な人や組織が関わり解決していくことが求められております。当塾は、そのような人や組織の「つなぎ役」となる人材の育成を目的として昨年より開催しております。今期の課程を修了した2期生の皆さまにおかれましては、今後も引き続き1期生とともに自主交流会や活動にご参加下さり、協働による地域づくりの担い手、つなぎ手として、ご活躍されることを期待しております。



宜野湾市
社会福祉協議会
多和田眞光 会長

本塾は、地域福祉を推進するうえで重要な人材の育成の場であると認識しています。塾生は、プログラムをとおして地域コーディネーターの役割を習得されました。また、様々な職種、年代との交流や地域活動する住民との出会いなど塾生、宇地泊区の地域住民にとって貴重な時間であったと思います。本塾生の今後の活躍に大いに期待しております。



高崎経済大学
櫻井常矢 教授

一層の高齢化が進む地域社会では、閉ざされた自治会や団体活動ではなく、他の地域・団体との「連携・協働」を通じて多様な知恵や工夫を受け入れる外に開かれた地域づくりが求められます。塾生の皆さんの力が発揮されるのはまさにここからです。この塾での出会いを新たなネットワークとして、ぜひこれから一緒に頑張ってください。



沖縄県地域振興協会
専務理事兼事務局長
富永千尋 氏

当協会の助成金を活用していただき感謝いたします。塾に参加させていただきましたが、よくコーディネートされた実践型のクラスが素晴らしかったです。自治会が元気になる取り組みを塾に参加する人たちが提案するのは先進的な取り組みだと思えます。関係者のネットワークが充実し、提案が実現していくことを楽しみにしています。



まちなか研究所わくわく
事務局長
宮道喜一 氏

今期も、地域の課題に向き合い、その解決策だけでなく、実現のためのプロセスを考え、学び合いました。地域の課題解決のプロセスへの参加・参画が地域づくりの人材を育てていくことにつながります。本塾はそのプロセスを体感するものとなっています。市内外の人や資源をつなぎながら宜野湾市の協働の地域づくりを進めていきましょう。

ぎのわん地域づくり塾2017 実施概要

宜野湾市 企画部 市民協働推進課 市民協働係 TEL 098-893-4411 (内線 403, 422)